

県大会を振り返って

合掌

埼玉県大会が終了しました。今年は、少林寺拳法全国大会が、埼玉県で行われる関係で、例年より規模を縮小し、また、種目も全国大会に合わせたものとなっていましたので、特に少年部にとっては、入賞には狭き門となっていました。もちろん、少林寺拳法の修練の目的は、大会での入賞ではありませんが、日頃の修練の成果を発表し、確認するという意味では、大会での得点や順位というのは、一つの目安になります。また、道院長としても、門下生が良い結果を出してくれるのは、やはりうれしいものですし、それを期待します。

さて、今大会を振り返ってみたいと思います。前回の修練の時に、「満足できた人」と聞くと、少年部の1組だけが手を挙げました。その組は2人とも手を挙げましたので、そうなのでしょう。U拳士、練習の時から、声がかかるくらい大きな気合を出していましたし、K拳士は、今回の結果がそうとう悔しかったようですから、それだけ、一生懸命に取り組み、満足できたのでしょうか。親子の部のO親子拳士も、予選はトップ通過だったようですが、本選ではおしくも4位と、残念でした。しかし、練習では、少年部が終わった後まで残って頑張っていました。障害者の部、今回、初めての部ですが、なかなか練習の日程が合わず、十分な練習とはいかなかったようですが、自分たちで、公民館などの施設を借りて、自主練をしていました。こういう努力が素晴らしいですね。2位という結果は、悔しいところではありますが、満足できたでしょうか。中学生の部。中学生拳士が、練習という面ではやはり大変でしたね。学校の部活、塾等、忙しい中での大会練習は思ったようにはいきません。今回も、部活や試合があってもかかわらず、組んでいる相手の為に、休んで参加してくれた拳士もいます。学校等との両立は大変ですが、ぜひ続けて頑張ってもらいたいですね。U拳士とK拳士は本選に進み、4位と、おしい結果でしたが、迫力的には十分、上位の組にも負けていませんでした。高校生もエントリーして、練習もしていたのですが、今回日程が合わず、参加できませんでした。残念です。しかし、演武の仕上がりは上々でした。一般女子の部、結果はまずまずだったのですが、満足できない部分もあったようです。そういう気持ちが大事です。結果や今の自分に満足せず、常に向上心を持つことが大事です。一般団体は、なかなかメンバーがそろわず、練習には苦労しましたが、なんとか、できましたね。特にU拳士、若い拳士に交じっての演武、大変でしたが、上手にそろっていました。少年団体の部。これも、なかなかメンバーがそろわず、また、演武も連反攻を入れてという、レベルの高い技に挑戦し、練習は大変でしたが、大会では元気もよく、なかなかよかったです。しかし、練習不足は否めませんでしたね。2位という結果は、本当に悔しい限りです。

今回の大会で感じたこと。少年団体の部で1位だった拳友会の拳士たちです。団体の部は、少年から一般まで同じコートで行いました。少年の部は最後だったので、かなり待ち時間があったのですが、その間、1位だった拳友会の少年拳士たちは、大変行儀よく座って待っていました。これは見習うべきことですね。道場でも話しましたが、少林寺拳法の修行の目的は、まずは自己確立、そして、自他共栄です。自己確立とは、確かな寄り所となる自己をつくることです。「愛と勇気と慈悲心と行動力を持った人」になるということですが、その為にはまず、道場での心得をしっかりと身に付けることが大切です。「身に付ける」とは、道場だけで出来ても駄目、家でも学校でも職場でも、つまり日常生活の中で実践できるということです。道場の心得とは「礼儀」です。どんな時も、礼儀正しくあること、「T.P.O」、時と場所と場合に応じた行動をとれるということです。大会会場で、互いに演武を見合い、しっかりと待つことができる自己であることです。

少林寺拳法の拳士として、自分の在り方を常に問う生き方をすること、これが道場の心得の最初にある「脚下照顧」の意味なのです。

連絡事項

1 夏休みについて

夏休み前の修練は、8月4日(月)までです。5日～21日までは夏休みになります。22日の道院合宿より、修練が始まります。道院合宿に参加しない拳士は、25日(月)からの修練となります。

2 少林寺拳法草加大会について

別紙「少林寺拳法草加大会について」の手紙を参照ください。

参加申込書を7月中に提出ください。

3 日本武道館主催「地域指導者講習会」の参加について

恒例の、日本武道館主催「地域指導者講習会」が下記の要領で行われます。1級以上、高校生以上参加可能ですので、参加できる方、7月中に、梶谷までご連絡ください。

(1)日 時 11月15日(土)、16日(日) どちらか1日でも可。

午前9時～午後4時

(2)場 所 埼玉県立武道館

(3)持ち物 道着 帯 肩章 防具(胴) 昼食 飲み物

4 さいたまオープン大会の中止について

上記「地域指導者講習会」の実施と、日程が重なったため、本年の「さいたまオープン大会」は中止となります。

5 全国大会について

(1)全国大会出場拳士について

県大会で、競技の部3位以内、発表の部1位の拳士は全国大会に出場することができます。おめでとうございます。また、種目によって、全国からのエントリーが少ない場合は、それ以外の拳士も、繰り上げ出場の可能性もありますので、ご承知おきください。

全国大会出場決定拳士

さいたま桜道院拳友会

○一般女子3段以上の部 坂本・伊達組

○男子運用法の部 天下井・澤田組

○女子運用法の部 坂本・伊達組

○一般団体の部 上野・天下井・澤田・堀田・梶谷(星)・青野

埼玉大学支部

○大学生男女の部 野口・伊藤組

○大学生女子の部 関谷・田口組

(2)大会出場費及び会場入場券について

全国大会に出場する拳士は、出場費2000円、会場費1000円が必要です。また、県連より、交通費として2000円支給されます。また、応援の方も、当日、会場入場券(1000円)が必要です。申し込みについては、9月ごろになりますので、よろしくお願ひします。